

既刊号内容

第1号 (1990) -- 在庫なし。第7号の巻末に復刻 --

- ・ 創刊の辞 津村俊夫
- ・ 詩篇 55 篇 13 節の釈義 佐々木哲夫
- ・ 詩篇 55 篇における「災いの祈願」 木内伸嘉
- ・ 釈義ノート(1) : I. 詩篇 55:23a, II. שָׁלוֹךְ (Hi) 「決める」 津村俊夫

第2号 (1991) -- 在庫なし --

- ・ いけにえとしての「砕かれた心」(詩 51:18-19, 21) 木内伸嘉
- ・ 詩篇 51 篇の統一性の問題 津村俊夫
- ・ 詩篇 51 篇 8 節における知恵 佐々木哲夫
- ・ 詩篇 51 篇 14b 節の統語上の問題 竹内茂夫
- ・ 釈義ノート: 詩篇 51 篇 6 節の לְמַעַן の意味 松本任弘
- ・ 釈義ノート: 詩篇 51 篇 12-14 節 木内伸嘉

第3号 (1992) -- 残部僅少 --

- ・ 古代オリエントの表題付きの詩歌 津村俊夫
- ・ 詩篇 18 篇 5-6 節における死のメタファー 佐々木哲夫
- ・ メシヤの義 (詩 18:21-25) 木内伸嘉
- ・ 詩篇 18 篇の解釈に関する諸問題: I. 2 節,
II. 8-20 節と「カナン神話」, III. 40 節 津村俊夫
- ・ 詩篇 18:48 の אֵיִשׁ חָמָס について 白畑 司
- ・ 詩篇 18 篇の未完了形動詞と継続法ワウの用法 竹内茂夫
- ・ 詩篇 4 篇における“Precative Perfect”(祈願的完了形) 遠藤嘉信
- ・ כִּי־חַדְוַת יְהוָה הִיא מְעֻזָּם (ネヘミヤ 8:10b) の意味 松本任弘

第4号 (1993)

- ・ 詩篇 2 篇における「アラム語的特徴 (Aramaism)」 竹内茂夫
- ・ 詩篇 2 篇 7 節における חֶק 鞭木由行
- ・ 詩篇 2 篇 9 節における *trm* 木内伸嘉

- ・詩篇 2 篇 10 節の לַחַיִּים の意味
— ドラマの談話分析の視点から — 佐々木哲夫
- ・詩篇 2 篇 12 節に於ける אֶתְּנֶה を伴う従属節 遠藤嘉信
- ・詩篇 22 篇 3 節の文学的構造 稲垣緋紗子
- ・詩篇 22 篇 9 節 稲垣緋紗子
- ・ハバクク書 2 章 3a 節 津村俊夫
- ・聖書ヘブル語の音韻規則 津村俊夫
- ・ヘブル語 kî の話者指向的用法 W.T. クラーセン (訳：木内伸嘉)

第 5 号 (1994)

- ・「謎」の意味 (詩 49:5) 佐々木哲夫
 - ・詩篇 49 篇 15 節の構造とその翻訳 津村俊夫
 - ・命にまさる恵み (詩 49:16) 木内伸嘉
 - ・誰がヨセフを？創世記 37 章 28 節の解釈 遠藤嘉信
 - ・ֹטִי の話者指向的用法 木内伸嘉
- <「新共同訳」の翻訳について>**
- ・出エジプト記の翻訳検討 (1) 鞭木由行
 - ・サムエル記の翻訳批評 (1) 津村俊夫
 - ・「コヘレトの言葉」訳評 佐々木哲夫

第 6 号 (1995) <特集：安息日について>

- ・創造の第 7 日 松本任弘
 - ・「しるし」としての安息日 (出 31:12-17) 鞭木由行
 - ・ヨベルの年と qdš 木内伸嘉
 - ・安息日における仕事 (民 15:32-36) 佐々木哲夫
 - ・シナイ山とモアブ平原における安息日規定 遠藤嘉信
 - ・サムエル記における「新月祭」と「安息日」 津村俊夫
- <「新共同訳」の翻訳について>**
- ・レビ記の翻訳批評(1) 木内伸嘉

第7号 (1996) <特集：詩篇 89 篇の研究>

- ・メシヤの栄光と恥 — 詩篇 89 篇における嘆き
 - ・隠喩表現としての כּהָרָ (詩篇 89:11)
 - ・כִּוֶּן (冠) に見るダビデ王権の特質
 - ・「雲の中の真実な証人」(詩篇 89:38)
 - ・詩篇 4 篇 5 節の構造
 - ・創造の記述における段落構成と語りの進展
 - ・「新共同訳」訳評「レビ記」(2)
- 木内伸嘉
佐々木哲夫
鞭木由行
津村俊夫
富田雄治
稲垣緋紗子
木内伸嘉

EXEGETICA 第1号 (1990) <<復刻版>>

第8号 (1997) <旧約聖書における「霊」(1)>

- ・サムエル記における『主からの悪い霊』
 - ・契約の成就としての霊の内住 (ハガイ 2 章 5 節)
 - ・主の霊は「覆う」のか「着る」のか
— 士師記 6 章 34 節の שָׁכַח —
 - ・「干からびた骨の幻」(エゼキエル 37:1-14) の
修辭的特徴と רָחַם
 - ・申命記における 28 章 69 節の位置付け
- [釈義ノート]
- ・エレミヤ書 7 章 21 節における「いけにえ拒否」
- [釈義ノート]
- ・「勇士は弓を砕かれ」(I サムエル記 2:4)
 - ・アモス書 1 章 2 節a
- 津村俊夫
鞭木由行
佐々木哲夫
遠藤嘉信
奥田健一
木内伸嘉
津村俊夫

第9号 (1998) <旧約聖書における「霊」(2)>

- ・「しるし」としての預言 (民数 11:24-30)
— 聖書神学的考察 —
 - ・知恵の霊 (רוּחַ חָכְמָה)
 - ・創造における『神の息』(創世記 1:2c)
- 木内伸嘉
佐々木哲夫
津村俊夫

[釈義ノート]

- ・「わたしの霊によって」(ゼカリヤ 4:6) 津村俊夫

[特別寄稿]

- ・古典ヘブライ語意味論研究の最近の動向 村岡崇光
- ・申命記 6 章 9 節の כִּשְׁפָתַי の意味 後藤茂光

第10号 (1999) <文書資料説をめぐる諸問題>

- ・「洪水物語」(創世記 6 章-9 章) の構造と資料説 遠藤嘉信
- ・なぜ香の壇の記述は後置されたのか
(出エジプト記 30 章 1 節-10 節) 鞭木由行
- ・「聖潔法律集」の存在について 木内伸嘉
- ・メソポタミアからレビ記への「語りかけ」
— 債務による拘束をめぐる — 依田 泉
- ・士師記の構造と編集 佐々木哲夫
- ・「語り」における「表」の位置付けについて — I サムエル記 6 章
17 節-18 節a の「項目+数詞 "1"」タイプの表 — 津村俊夫
- ・詩篇 100 篇 3 節における「掛け言葉」 竹内茂夫
- ・詩篇 61 篇 7-8 節の解釈について 山田良輝

[新約釈義]

- ・コロサイ 1 章 20 節における「万物の和解」 内田和彦
- ・θυμιατήριον (ヘブル 9 章 4 節) について 伊藤明生

第11号 (2000) <聖書の「法」>

- ・「信仰」と「みおしえ (νόμος)」との連続性 — ローマ人への
手紙 3 章 27 節の νόμος πίστεως をめぐって — 伊藤明生
- ・「生けるいけにえ」(ローマ 12:1) 木内伸嘉
- ・ギブアの罪とベニヤミン族への制裁
— 士師記 19 章-21 章 — 佐々木哲夫
- ・出エジプト記 24 章 7 節の「契約の書」 鞭木由行
- ・律法の「成就」と「廃棄」 — yšc の意味 — 津村俊夫

第12号 (2001) <律法から信仰へ>

- ・カインとアベルに見られる「信仰」 木内伸嘉
- ・メリバにおける信と聖: モーセの罪をめぐって 遠藤嘉信
- ・初期ユダヤ文書における創造物語と唯一神信仰 遠藤勝信
- ・従順 (ὕπακοή) と 信仰 (πίστις)
— ὕπακοή πίστις (ローマ 1:5) をめぐって — 伊藤明生
- ・キリストは律法の終りか? ローマ書 10 章 4 節再考 内田和彦
- ・ヨブ記 38 章 36 節の「鵠」? 鞭木由行
- ・ハバクク書 2 章 6 節b 津村俊夫

第13号 (2002) <聖書の救い (1)>

- ・ハバクク書における救い 津村俊夫
- ・レビラート婚をめぐる救済観 木内伸嘉
- ・「取り戻し」という「救い」
— 士師記 11 章 26 節の נָצַל — 佐々木哲夫
- ・「イスラエルはみな救われる」! 伊藤明生
- ・「婚宴のたとえ」(マタイ 22 章 1-14 節) は
「『地獄』の後の救い」を教えているか? 内田和彦

第14号 (2003) <聖書の救い (2)>

- ・「心の救い」への道 — レビ記 26 章 木内伸嘉
- ・救いとしての『神の過越』 鞭木由行
- ・救いの誘因 — 士師記 10 章 6-16 節 — 佐々木哲夫
- ・主の民イスラエルの無比性 (2サムエル7:23) 津村俊夫
- ・「心」と「口」 — ローマ書 10 章をめぐり — 伊藤明生
- ・聖書ヘブル語説話文研究における
「近景・遠景化仮説」の問題 遠藤嘉信

第15号 (2004) <聖書翻訳の諸問題 (1)>

- ・ヨハネ 1 章 14 節a の本文批評研究再考 遠藤勝信
- ・2サムエル記 7 章 8-16 節における動詞のテンス 津村俊夫

- ・ 訳語「和解のいけにえ」再考 木内伸嘉
- ・ サムソンの祈りにおける「復讐」の意味
— 士師記 16 章 28 節の קָנַן — 佐々木哲夫
- ・ 七十人訳における訳語としての $\psi\alpha\lambda\mu\acute{o}\varsigma$, $\acute{\upsilon}\mu\nu\omicron\varsigma$, $\omega\delta\etá$ 鞭木由行
- ・ 新改訳聖書の福音書における $\acute{\iota}\delta\omicron\upsilon$ の訳について 内田和彦
- ・ 「わかりやすい聖書翻訳」の問題 遠藤嘉信
- ・ 聖書ヘブル語における修辭的挿入 (AXBパターン) 津村俊夫
(訳：由井純)

第16号 (2005) <聖書翻訳の諸問題 (2) 小辞について>

- ・ 話者志向的 *ki* と一人称単数・完了形・動詞 津村俊夫
- ・ 前置詞 ל を伴った疑問詞 הֲלֹא の用法 鞭木由行
- ・ レビ記におけるいくつかの小辞 木内伸嘉
- ・ 士師記 1 章 8 節の前置詞 כִּי 佐々木哲夫
- ・ $\gamma\acute{\alpha}\rho$ の翻訳再考 — 新改訳を中心に — 伊藤明生
- ・ 新改訳聖書における $\acute{\iota}\delta\omicron\upsilon$ の訳について
— 使徒の働き, 書簡, 黙示録 — 内田和彦

第17号 (2006) <聖書における死後の問題>

- ・ 新約聖書の「死後の世界」
— $\acute{\alpha}\delta\eta\varsigma$, $\acute{\alpha}\beta\upsilon\sigma\sigma\omicron\varsigma$, $\gamma\acute{\epsilon}\epsilon\nu\nu\alpha$, $\pi\alpha\rho\acute{\alpha}\delta\epsilon\iota\sigma\omicron\varsigma$ — 伊藤明生
- ・ ヨハネの福音書 17 章 3 節の「永遠のいのち」の解釈 遠藤勝信
- ・ 「いのちの書」 — 聖書神学的考察 — 木内伸嘉
- ・ イザヤ書 8 章 19 節における לֹאֲדַבֵּר 津村俊夫

第18号 (2007) <新約における旧約引用>

- ・ 家族分裂の苦難 — ミカ 7 章 6 節とマタイによる福音書 10 章 35–36 節 — 三好 明
- ・ 預言者ダビデ：使徒の働き 2 章 25–31 節における詩篇 15 篇 (LXX) の引用 三浦 讓
- ・ 「捨てられた石」と「つまずきの石」
— 「石」なるキリスト — 伊藤明生

- ・「からだの創造」
— 詩篇 40 篇 7-9 節, ヘブル書 10 章 5-7 節 — 木内伸嘉
- ・並行法の文法 津村俊夫

第19号 (2008) <『終わり』について>

- ・敵への主の復讐
— 申命記 32 章 35 節a の釈義を中心に — 奥田健一
- ・「終わりは確かに来る」 (ハバクク書 2 章 3 節b) 津村俊夫
- ・ אֲרִיזָה の時間感覚 佐々木哲夫
- ・ヨハネ 12 章 27 節におけるイエスの苦悶 (ταραχή)
— 「義人の苦難」の終末的・メシア的解釈を中心に — 小林高德
- ・使徒の働き 1 章 8 節における『地の果て』の意味 三浦 譲
- ・パウロ書簡における「望み」について
— 「既に」と「未だ」の狭間に — 伊藤明生
- ・「自分のわざの終わり」
— ヘブル書 3 章 7 節～4 章 13 節 — 木内伸嘉

第20号 (2009) <聖書における人間のいのち>

- ・創世記 2 章 7 節に関する一考察 鞭木由行
- ・「いのちの始まり」 (エレ 1:5, 詩 139:16) 佐々木哲夫
- ・神の民が選ぶべきいのち
— 申命記 30 章 20 節を中心に 奥田健一
- ・死の克服：カルデヤ人の場合 (イザヤ 47 章 8-9 節) 津村俊夫
- ・「信仰によって生きる」 (ハバクク書 2 章 4 節) 津村俊夫
- ・エゼキエル書 18 章におけるいのちと死 木内伸嘉
- ・「御霊がいのち」か「霊は生きている」か
～ローマ人への手紙 8 章 10 節を巡って～ 伊藤明生

第21号 (2010) <聖書における唯一神教>

- ・ *al-pānay* と唯一神教 — 出エジプト記 20 章 3 節 — 鞭木由行

- ・主なる神の唯一性について
— 申命記 4 章 35 節および 39 節 — 奥田健一
- ・サムエル記における一神教 津村俊夫
- ・ローマ 3 章 27～31 節における信仰義認と
唯一神信仰 伊藤明生
- ・コリント人への手紙第一 8 章 6 節における
「唯一の神，唯一の主なるキリスト」 三浦 譲
- ・聖書の「神」とアッカド語文学の「神々」
— 「洪水説話」におけるその描写の違い — 依田 泉

第22号 (2011) <聖書における偶像礼拝>

- ・古代イスラエルにおける子牛礼拝 津村俊夫
- ・エゼキエル書における偶像礼拝 木内伸嘉
- ・「神を知ること」— エゼキエル書における諸国への
預言を中心に — 木内伸嘉
- ・十戒の第 2 戒とイスラエルの歴史 — 使徒の働き
7 章 42-43 節における旧約引用 三浦 譲
- ・「見えない神のかたち」 — コロサイ人への手紙
1 章 15 節 伊藤明生

第23号 (2012) <第三戒とその解釈>

- ・主の名を唱える？ — 出エジプト記 20:7 津村俊夫
- ・「誓ってはならない」 — 第三戒とマタイ福音書 伊藤明生
- ・詩篇 24 篇 4 節と 73 篇 1 節における bar lebab
の意味 木内伸嘉
- ・禁止命令における二人称人称接尾辞をもつ
前置詞 lamedh (出エジプト記 20 章 4 節) 鞭木由行

第24号 (2013) <安息日規定の解釈>

- ・安息日規定における qaddeš の意味とその諸相
— 創世記 1-3 章とのかかわりにおいて — 木内伸嘉

- ・ 「主が七日目に休まれた」 (רַיַנַח בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי) の意味 津村俊夫
- ・ 「安息日を覚えよ」 (出 20:8) の意味 佐々木哲夫
- ・ 枠組みとしての安息日規定再考 (出エジプト記 31 章 12 節～17 節) 鞭木由行
- ・ 今に至るまで働く神 — ヨハネの福音書と安息日 — 伊藤明生
- ・ 安息日の聖と使徒パウロの聖の理解 — コロサイ 2 章 16 節を中心にして — 岩上敬人

第25号 (2014) <第五戒とその解釈>

- ・ 第五戒の意味と五書におけるその位置 木内伸嘉
- ・ 「アダマーにおける『長寿』について」 (出エジプト記 20 章 12 節) の意味 津村俊夫
- ・ 第五戒における לִמְנוּן 佐々木哲夫
- ・ 十戒の第五戒に伴う約束 — エペソ人への手紙 6 章 1-3 節 — 三浦 譲

第26号 (2017) <第六戒とその解釈>

- ・ 「汝殺すなかれ (לֹא תִרְצַח)」 における 「殺す (רָצַח)」 の意味 田村 将
- ・ 「たましいを打つこと」 津村俊夫
- ・ 「人の血を流す者は、人によって血を流される」 (創世記 9 章 6 節a) の意味 平塚治樹
- ・ レビ記と第六戒 木内伸嘉
- ・ 第六戒と「兄弟に対する怒り」 伊藤明生
- ・ ヘブル人への手紙 9 章 26 節a の小辞 ἐπεὶ の訳 輪田 豊

第27号 (2018) <第七戒とその解釈>

- ・ ホセア書 1 章 2 節の 「姦淫の女」と「姦淫の子どもら」 津村俊夫

- ・「たましいへの命令」としての十戒
— 出エジプト記 20 章 20 節との関係を中心に — 木内伸嘉
- ・「情欲を抱いて・・・」— 十戒の第七戒と第十戒 — 伊藤明生

第28号 (2019) <第八戒とその解釈>

- ・第八戒から読み取る人の心理 — ヘブル語の נָסַבַּ と
日本語の「盗む」の比較を通して — 公文 光
- ・נָסַבַּ の意味と第八戒の意図 平塚治樹
- ・「わたしのことばを盗み合う預言者たち」
(エレミヤ書 23 章 30 節) 津村俊夫
- ・第八戒の目的語 — 再考 — 佐々木哲夫
- ・「不正な管理人」のたとえばなし 伊藤明生

第29号 (2020) <第九戒とその解釈>

- ・第九戒における שָׁקַר וְיָד — שָׁקַר の意味を中心に — 平塚治樹
- ・שָׁקַר の意味 — 日本語「偽り」「嘘」との
比較研究を通して — 公文 光
- ・エレミヤ書 1-20 章における שָׁקַר 木内伸嘉
- ・「舌をつがえて偽りを放つ。」(エレミヤ 9:3a [MT 9:2a])
— イディオム・要語省略・メタファ — 津村俊夫
- ・偽証の本源 — ナボテのぶどう畑を
めぐる偽証 (I 列 21) — 佐々木哲夫
- ・箴言における אֱמֻנָה と שָׁקַר 公文 光
- ・証言の書としてのヨハネの福音書 伊藤明生

第30号 (2021) <第十戒とその解釈>

- ・「欲してはならない」とは 津村俊夫
- ・第十戒と אָמַר の意味 平塚治樹
- ・伝道者の書 5 章 18-20 節の意味と第十戒 公文 光
- ・「あなたの目が澄んでいるならば・・・」 伊藤明生

- ・「悪を貪る」について
— コリント人への手紙第一 10 章 6 節 — 三浦 譲
- ・テモテへの手紙第一 1 章 8-10 節における
律法への言及 木内伸嘉

既刊号の注文は、振替用紙に御希望の号と数量を明記し、送料 (各¥180) を加算した上でご送金ください。なお、3号は¥800、4-8, 11, 13, 14, 16, 22, 23, 25, 27, 28号は各¥1000、9, 17号は各¥700、10, 19, 26, 29, 30号は各¥1500、12, 15, 18, 20, 21, 24号は各¥1200です。